

噛み込み検査機能を追加

X線検査機「AD-4991」

イー・アンド・デイ

イー・アンド・デイは、X線検査機「AD-4991/PROTEX SERIES」に、包装工程で発生する可能性があるシール部の「噛み込み」を検査する機能のオプションを追加した。包装シール部に商品が

噛み込むと、気密性が保てず、品質を保持できなくなる可能性がある。そのため、食品工場では、商品が噛み込んでいないか、検査担当者の目視による全数チェックなど、多くの手間と時間をかけて出荷前検査を行って

いる場合がある。また、包装紙によっては、中の商品が見えないことや、光学カメラや光電センサーでの検知ができないことから、噛み込み検査は生産ラインにおいて悩みの種になっている。

そこで、同社ではX線検査機「AD-4991」のオプションとして、新たに噛み込み検査機能を追加した。噛み込みが発生すると、撮像された画像上に色付きで表示される。

「AD-4991」は、今年6月から制度化されるHACCP管理に貢献するX線検査機として注目されている。主な特徴としては①スリムデザインの省スペース設計、②1000種類の検査対象製品を画像とともに登録、③見やすい15インチカラータッチパネルを標準装備、④USBメモリーを用いたレポート出力、⑤オートセットで商品登録・簡単操作、⑥ベルトの着脱が容易、⑦外部機器との接続、⑧テス

トレポート機能、⑨画像スクリーンショット機能など。

